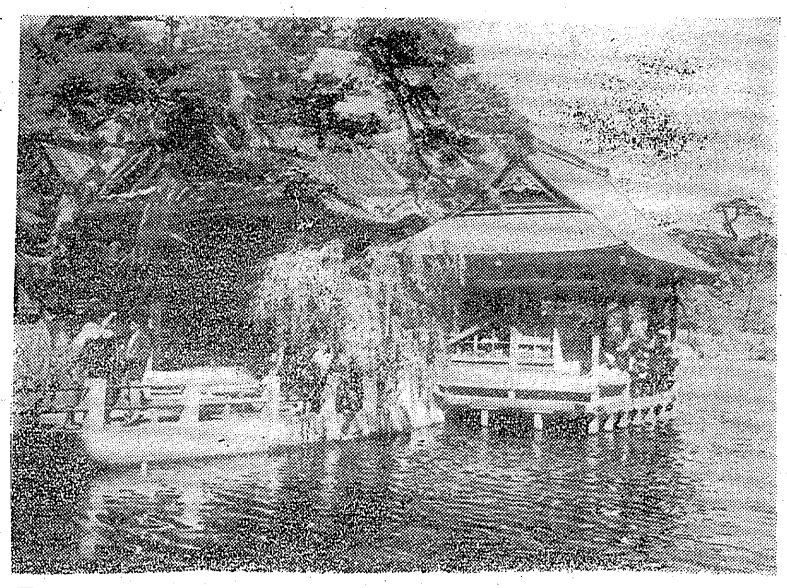
1　3343号　（昭和30年1月22日第三種郵便物認可）　常磐毎日新聞　（夕刊）　（日曜休刊）　昭和36年6月6日　（火曜日）

常磐毎日
発行所
平市田町75番地
電(代表) 2104—2105番

全国酒類
稲川吟醸酒店
福島県磐城郡平新町

変る賢沼の史跡
話題の真相を近く実測



大きなコイとフナやを飼い平市沼ノ内の賢沼は別名「弁天さま」として磐城七沼めぐりにはかせぬ名所として近年中遊り方部などからの観光客を集めているが、天然記念物としてこの賢沼が指定をうけた当時の面積と比べると半分くらいしかないことが判り、話題となっているが、この騙をさいわいとして現井のカブト塚もそうだあそこもそうじゃないかなどという話が次々と起り、「狭くなる生物」として話題をまいている。この賢沼が指定をうけた当時の面積と比べると半分くらいしかないことが判り、話題となっているが、この騙をさいわいとして現井のカブト塚もそうだあそこもそうじゃないかなどという話が次々と起り、「狭くなる生物」として話題をまいている。この賢沼が指定をうけた当時の面積と比べると半分くらいしかないことが判り、話題となっているが、この騙をさいわいとして現井のカブト塚もそうだあそこもそうじゃないかなどという話が次々と起り、「狭くなる生物」として話題をまいている。この賢沼が指定をうけた当時の面積と比べると半分

賢沼の場合は指定当時の面積が六十六畳歩となっているが、最近の計測では三千八百八十八歩しかないという。

沼なとの場合は年月によって周囲が浸しよくされ広くはなるが狭くなったことは先ずないというから当時の測量選士が目測で適当に処理したためではないかともいわれるが、指定をうけたのが町政時代で、平市で管理するようになったときにはその書類もないのでどうにもならず、といって半分はこしかないものを倍もあるような記載にしておくわけにはゆかないと近く実測して指定厚跡を正しすることになったもの。この沼からこんとは夏井のカブト塚より小さいというはなしが出され、再測量を実施すれば相当狭くなる虫跡がでてくるのではないかとみられている。

（写真は半分の面積しかなかった弁天さまの賢沼）

寒波で杉本枯れる
建築の希望者締切る

平林業務所では去る一月から一月にかけての寒波による管内の造林地区被害を調べていたが、きのうまとまった。

それによると被害面積は四四二ヘクタールでうち形が四一四ヘクタールではとんどをしめ次きは赤松一七ヘクタール、検一ヘクタールとなっており、損害は約一千万円にのぼる大な金額になる。この寒害は白城部ではじめて来る二十三年に一部あっただけで、こんどの寒害では杉三の被害一年から年のものが多く、完全に枯木が死んでしまった。

このため同所では県に対策方を依頼した。管内の町村別に見ると川前村の全域をはじめ三和、田人村と山間部が被害を受けて約四割が完全枯状態になっている。この大寒な被害が発生したのは何と年振りで、ことしの一月から二月にかけて寒波が押し寄せ、西風でほとんどいたためつけられ気温は最低マイナス九度から十度が続き大被害となった。

九品寺前に住宅団地
建築の希望者締切る

住宅難は全国的に深刻な問題となっている。平市の場合だと約千五百戸の住宅が不足しているというが、年次計画で解決しようとの計画がたてられている。この住宅難解消の一環として平市建築課では六、四（六畳）小が五十坪方メートル（六畳）が五十坪方メートル（六畳）建設資金は一戸当り最高八十五万六千円（三十八万円）である。

建設者は鉄道員が多く五八、次いで教員四人、保健所職員二人、警察、裁判所、郵便局、市役所、職安関係が各一人で、資金は退職金だけでまかなえるものは少ない。

商店の一斉休業
消費者は困らない

立ち働かなければならないのである。丁稚奉公という名称は使わないが、実質的には丁稚子個であり、その思実さいかんが店員の待遇いかんにもかかわるので、とかく厳しくなりがちだ。経営者にとっては、まさに大きな負担である。しかし店員にとっては有難い収穫れどきである。

▼▼しかし、店員にとっては有難い収穫れどきである。三度の食事もうごとにとれず

▼▼それらの問題を皆ながらに

田植えに自衛隊員
手不足の岡部さん宅へ

自衛隊は農繁期で人手不足に悩んでいる農家の田植を手伝いを行うことになった。このため平市では自衛隊員の農作業応援希望者を募り、申し込み七件を選んの結果、平市上平窪字三件七九岡部清さん宅方に決り、十二日から三日間一旦三名の自衛隊員が出動して田植えを行うことになった

岡部さん方は清さんと妻の千代子さん(四)の二人が病気で倒れ磐城共立病院に入院、家族は長男の善衛君（磐城三年生）が学校を休んで八十アールの田畑を耕やしたり家事を切り回している。しかし猫の手も借りたい農繁期を二人では田植えを満足にできないことから、この自衛隊の労力奉仕に喜んでいる。

消防署員が即死
国道でトラックに轢れ

家を建てるため材料を取りに行く途中の常磐消防署員が草野一四倉間の新六号国道で即死するという交通事故が六日未明発生した。

同日午前三時ごろ四倉町狐塚字川田地内の新国道で、常磐市水野谷字頭助一五六、消防署員工藤源郎(三七)さんは自分で普通トラックを運転して高岡町に家を建てる材料を取りに行くため、三輪車と二輪に同地内にさしかかった際、三輪車が故障を起したので、工藤さんの運転する車が先に走っていたが、ぎやく回りでもう三輪車の故障を見ているうち、平から四倉向けに走って来た相馬市中村字上町二六型トラック、平和運送KKの運転手加藤喜雄さん(三)鉄材を満載した車が助方工藤さんのトラックのライトがついているのに目をくらみ、トラックの脇に立っている工藤さんに気がつかず大型トラックの後車に轢かれ即死した。

計算尺検定合格者

平商工会議所主催の第十一回計算尺技能検定試験は四日、二四四十二名が集まり行なわれたが、六日次の合格者が発表された。

▼二級＝長岡良英、加藤五六、草野利夫、岸常敏、赤津純一、根本敏、山本洋司、佐藤徳蔵、松本洋

▼三級＝根本敏、岸田洋司、十文字清、平沢健一、坂本正一、坂本健二、山本洋司、竹内二男、倉田勝幸、樋田忠欣、小野俊幸、佐藤茂弘、成田進、大友英明

▼四級＝進藤文子、阿部喜子、村山秀勝、遠藤久之、遠藤勝広、小島健一、佐藤茂弘、下山田清剛、高橋忠男、平田敏次、本田雄一、緑川久之、村山秀雄、馬上強、阿部博、鈴木昭明、高木利之、丹野元紀、大友武久、樋田喜弘、永山晴、根本昭雄、箱崎信正、鈴木兜次、武藤義夫、佐藤文雄

▼五級＝吉田史郎、鈴木保、関根茂一、安達正昭、大谷重太郎、折笠久福、戸田広、西山敏彦、箱崎信正、長谷川務、吉田秀穂、長瀬伊佐雄、高橋忠市、猪狩正毅

無銭で飲食
狐塚の男ブタ箱

平署は三日午後八時ごろ四倉町狐塚字弁天岡三一、無職根本好恵(三)を無銭飲食で捕えた。根本は同時刻ごろ平市田町三六〃味一番〃こと猿猴笹一郎さん方で〃俺は四本一万円の新鉄道開通用鉄道で上り二八列車＝林務課機関士三＝に神白勝男、佐藤健志、竹内二男あるんだ〃といって酒酒、餃子五人前など十数人前を平らげ、勘定の段になると〃金は持っていない〃と開き直ったもの。

団体に寄付
香煙返に鈴木さんから

平市三千四二七、大勝園鈴木喜兵衛さんは〃長年の生前の意志により学校、各部団体などに二万七千円を寄贈した。

▼二千円、三千五区内会、商店会、青年会、婦人会、ボーイスカート市内高校高友会、猿志園、盤城猿猴園、▼千円、長生会。

鈴木好間町長副会長に
県町村会総会で

五日午前十時から県農業会館ホールで、開かれた町村会定期総会で新会長に笹間町鈴木栄一好間町長が選任された本、つまる五皿なり計四百四相当を無銀飲食したもの。

北目町側溝工事着手

平市では北目町地内側溝をつくることになったが、その工費は二十六万五千円で延長二百五十メートルで六月末には完成の予定。

電工暴れる

平署は五日午前一時半ごろ双葉郡浪江町権現堂字鳥喰二〇、電工佐久間四郎(三)を傷害現行犯で逮捕した。

調べによると佐久間は酒に酔って、同日午前一時ごろ平駅前〃さかえ食堂〃の店員太田真枝さん(三)を外に連れ出そうとしたが、断られたことに腹立して太田さんの両足を五、六回にわたりけとばしたもの。

苗代千しあがる
愛谷堰改良区 対策に協議会開く

日照り続きのため各地で水不足をきたしているが、愛谷堰土地改良区でも愛谷堰の取入口が三分の一に減少したため、かんがい水田は半しあがり、苗代は枯死寸前にあるという事態に追い込まれたために五日緊急役員会を開き対策を協議した。

この愛谷堰の水量減による被害地域は堀井、堰上流、高久、豊間の四地区で五・四ヘクタールに及んでいる。

虫歯をなくそう
二小早期治療に本腰

四日から関の第五週間運動が全国的に実施されているが、平第二小学校では〃虫歯をなくそう〃と、この週間中に❶虫歯の早期治療❷歯みがきの指導❸うがいの奨励❹虫歯は乳歯、永久歯とも子供の時に治療と矯正するのがもっともよいことを強調することになった。

このため同校では児童からポスター、作文、標語、紙芝居などを作成、保健教育の向上に励むことになった。期間中は、六日学級閉の会に一斉歯みがき指導、七日低学年が歯磨で紙芝居を観賞、八日高学年がうがいう写真の観賞、九日口腔衛生のお話（虫の水を配分するものだが、まず七日に高久、豊間地区、八日夏井地区、九日上流部となっている。このほか各地区でも相当の干日があるものとみられるので、市当局でも対策に乗り出すことになっている。

泉教諭）十日歯学の調査と図ランのほしい子供の図書、十二日よい歯、よい作品の表彰を行なう。

自動車検定
合格者発表

平自動車教習所の第二回卒業検定試験を行なった結果、大型車四名、普通車四十七名、軽自動車十三名と助手全員が合格した。次回は七月三、四の両日行なう。また今まで福島、水戸で行なわれていた大型試験はここで行なうことになった。検定合格者は次のとおり。

◇大型車＝山野辺迎、高橋利昭、阿部晃、園部鈴雄

◇普通車＝小松三郎、井坂幸子、中野晃、今関愛子、内山治郎、舟野アキ子、渡井美喜子、阿部誠二、矢内昭一、野崎弘文、渡辺昭雄、鶴田雄、渡辺芳郎、猪狩興家、渡辺順子、永山貞夫、小池治男、志賀三代男、荒川利夫、小林正治、下山田章、里見三郎、大和田重雄、坂本剛、草野四郎、国井豊、佐川秀造、佐藤茂郎、塩坂敏夫、手井文彦、藤原静也、竹内久男、吉田昭、坂本一郎、志賀誠一郎、作山好男、村田一、柴田春雄、佐藤輝世、大友茂矢、佐川幸雄、小玉昭雄、阿部孝次、根本松三、迎源内

◇軽自動車＝鈴木昌平、土園はる、斉藤徳之助、森金四郎、赤城実、平野照雄、仲田徳弘、岡田三郎、斉藤紀男、大平保、小林正治、下山田章、里見三郎、大和田重雄、坂本剛、草野四郎、国井豊、佐川秀造、佐藤茂郎、塩坂敏夫、手井文彦、藤原静也、竹内久男、吉田昭、坂本一郎、志賀誠一郎、作山好男、村田一、柴田春雄、佐藤輝世、大友茂矢、佐川幸雄、小玉昭雄、阿部孝次、根本松三、迎源内

病気を苦に自殺
人妻機関車に飛込み

三日二後二時半ごろ好間村上好間字小滝、無職斉藤紀男(六)の妻初江さん(四)は同字内中好間字石坂地内の両炭鉱専用鉄道で上り二八列車＝林務課機関士三＝に飛び込み自殺した。

古川好間炭鉱線が天福田寄治さんの妻初江さんは同村中好間字石坂地内の両炭鉱専用鉄道で上り二八列車＝林務課機関士三＝に飛び込み自殺した。

初江さんは更年期障害で入院していたもので、自宅に「病気がなおらないので自殺する」との遺書があった。

閻魔帳

▼▼市内各商店では今まで月一回の休業日をきめていたが、▼▼しかし、店員にとっては日曜日を開いて一回休業の実施を見ることになった。これを全店一斉に軒並みそろえて休むため、商店会連合会、労基署、商工会議所が呼びかけている。

▼▼商業経営者は、その性質が官庁や会社、工場と違って、あきない客営をするために、休日やいろいろな催しをあてることを思っていたわけだ。そのためには、日曜日や祭日には金も正月もあったものでない。かねて腕によりをかけていたのを市民の休みを祝祭日ほど損だ。経営者にとっては、まさに喜ばしい収穫れどきである。

▼▼しかし、店員にとっては有難い収穫れどきである。三度の食事もうごとにとれず

▼▼それらの問題を皆ながらに

商店の一斉休業
消費者は困らない

立ち働かなければならないのである。丁稚奉公という名称は使わないが、実質的には丁稚子個であり、その思実さいかんが店員の待遇いかんにもかかわるので、とかく厳しくなりがちだ。経営者にとっては、まさに大きな負担である。しかし店員にとっては有難い収穫れどきである。

▼▼しかし、店員にとっては有難い収穫れどきである。三度の食事もうごとにとれず

▼▼それらの問題を皆ながらに

厚生医療 指定病院 労災保険 指定病院 身体不自由者相談所
財団法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
本院 平市十五丁目十三番地 電話四二三・四二三番
分院 平市小太郎町十三番地 電話四一三・三番
内科 外科 整形外科 小児科 呼吸器科 皮膚科 泌尿器科 理学診療科 レントゲン科

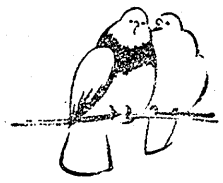
御宴会なら無駄なお金は入りません
安い会費の 酒喜庵 電四四三・二

移転お知らせ
今般左記に移転しましたのでお知らせ致します
内科 小児科 高久医院
平市紺屋町十一（民園向い）電話一五二三

農家の力の偉大さを見よ！
籐越
農業機になりますと平市は町中がヒソリとなります。あれほど混みすぎるくとお小言を頂きました五穀の食堂もお盛綴でヒソリ。
越
平市

父義忠儀予ねて病気療養中のところ遂に去る六月五日午後五時二十分永眠いたしました　茲に生前の御交誼を深謝し謹んで御通知申し上げます
追つて葬儀は六月七日午後一時自宅出棺弘源寺にて仏式を以て相営みます
昭和三十六年六月六日
平市二丁目二十七番地
大勝園
喪主 鈴木嘉兵衛
外親戚一同

（第三種郵便物認可）定価一カ月100円・一部5円



炭鉱閉山の困難

白水小　斎藤　真佐子

私達の白水町は炭鉱町です。しかも大体は炭鉱長屋に住んでいます。そして、今まではがらかにくらしていたが、世の中の移り変わりに従って、その石炭があまり、使われなくなりました。これが、炭鉱で働く人々の生活に大きくひびいて、その生活はだんだん苦しくなりました。

人々は、それを顧って、毎日苦しい思いをしているのです。両親は、わが子をりっぱに育よう

しかし、その苦しい生活の中にいつも、少しでも、自分の幸福を見つけだそうと、炭の鉱

うという望みでいつはいですが十円の小遣いでも、今では五円でがまんしなければならない状態です。それでも九州の炭鉱地帯を思うとまだまだと思います。

去年の春のころ、みた「ともんちゃん」のあの物悲しい映画は私のまぶたの底にまだ強く残っています。

私も、ある時、「あの人は、いつも同じ服を着ている」と、言われたことがありましたが、その気持は今でも忘れられません。このごろ、仕事がくびになる人が、沢山でて、今までは、「安定所へなどという言葉にあまり関心がなかったが、このごろでは感じについても、「こんどの土曜日安定所へ行くんだ」などの話が沢山聞かれるようになりました。

安定所から言われて、上京して働く人々の気持は、どんな思いでしょうか。こちらにいる家族の人達のことを思って、この冬空の下で働いていることでしょう。しかし、その新しい仕事で、苦しみながらも、自分の家の生活を守っていこうと、この人達は、毎日努力をつづけているのです。おもいおもいの場所を、見つけだそうと、みんながんばっているのです。

それが、私達の貧しい町の発展のために、大きな力となることを、私は毎日心の中で、願いながら勉強を続けています。

公明選挙 徹底の対策れる

民間人と研修会開さ

公明選挙は各種選挙ごとに叫ばれているが、民間には意匠せず行きづまりの状態にある。このため県石城事務所では七日午前十時から平市公会堂日本間に部内各市町村の推進委員、民間人などを集めて「公明選挙推進委員総合研修会」を開き、対策を協議することにな

つた。とくにことしから市から五名、町村から二、三名の民間推進委員を委嘱してケテ、ヨコの連絡を密にすることになっている。

学童横断誘導 協会表彰さる

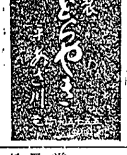
勿来市植田町の金山学童横断歩道誘導協会（会長滝内秋次郎氏）会員四十六人は五日植田町みどりで開かれた植島県交通安全勿来支部の総会の席上で管内勿来警察署長と金成交通安全協会支部長から金一封を添えて感謝状をおくられた同誘導協会は学童を恐ろしい交通事故から守るため、今年四月四十六人で発足金施設の完備や会員相互による学童の補導に務めたもの

時の記念日行事 無料検定や書道展開く

平地区　時計眼鏡商工組合では時の記念日行事として来る九日より十一日迄平公民館において平地区時計眼鏡商工組主催　平市教育委員会後援のもとに種種な催しを開くことになった。

入選者には学校賞四、金賞五、銀賞一〇、佳作二〇点、外金賞参加賞をおくることになった。

なお十日には平駅前広場で時計無料検定所を開設するのでとくに御利用されることを望んでいる。



画廊園を視察 常磐観光団で

常磐市観光協会では四日、仙台市長町御殿堰を視察した。参加関係者は市議会経済委員、商工課、温本温泉組合、農林課、建設課、財

養老園にステレオ

酒出氏の寄贈で喜ぶ

勿来市植田町諸所下三、東映多磨撮、商工、講所、湯の岳開拓部落、被聴園五十名。これは地元湯の岳のイチゴ園その他の観光施設を参考にして、今後の誘致に万全を期すことになったため。